

【高知大学】

プリシリア マハラニ
(PRICILIA MAHARANI) インドネシア
土佐さきがけプログラム国際人材育成コース1年生



日本は私の人生の一部として

今思えば、高知大学に入学した当時が信じられません。このプログラムに一年生として外国人は私しかいなかったからです。

私は幸運なことにこの高知大学の新しいプログラムに選ばれ、とても楽しんでます。しかしながら、あまり日本語が身に付いていないまま大学に入り、全ての授業が日本語で行われ、100%の学生が日本人だったことにショックを受けました。今まで全く学んだことのない授業で日本語の問題もあり、そのことにも非常に驚きました。私の日本での高校時代には日本語コースで基本的な日本語を学んでいるので、日本語がこんなにも難しいものとは知らなかったからです。

また、私は友達のを和を広げるためにサークルに加入して、バンドのメンバーとして活動しています。それだけではなく、ボランティア活動もし、先日は四万十に行き、日本の家族の所でホームステイをしました。

日本についていろいろ教えてくれて、日本に来られて嬉しく思っています。本当にありがとうございます。卒業まで、頑張っていきます！

カティア セルバンテス バロン (メキシコ)
日本語・日本文化研修留学生



高知大学に留学生として入って3カ月が経とうとしています。私は日本に留学することがずっと夢でした。母国の日墨協会で6年間日本語を勉強していました。文部科学省の奨学金のおかげで、やっと日研生として、日本に留学でき、夢がかないました。決まった時は、嬉しくて楽しみでいっぱいでした。

高知大に留学することが決まったことは、運命だと思いました。なぜかという、私の住んでいるメキシコの日本人の友達は高知出身で、その上、彼女の両親が高知に住んでいて、お母さんが高知大の先生だとその時に知ったからです。

家族と離れることは初めてでしたが、留学したいという気持ちが強かったので不安はありませんでした。高知での生活は、国際交流課の先生方と日本人のチューターのおかげですぐに慣れました。とても感謝しています。

この三カ月の高知での生活で大好きになったところがいくつかあります。それは、人が優しいこと、温かい心を持っていること、料理が美味しいこと、景色が美しいことです。母国と違うことが多くて毎日が新鮮で楽しいです。

私はメキシコ国立自治大学で国際関係を勉強してきました。講義を受けるよりも実際にいろいろな国の人と出会い話し合うことは、お互いの国の状態を新しい立場から見えます。だから、留学することは国際関係をもっと深く理解できるものだと考えています。

私はこれから日本語の勉強をもっと頑張ってN1を合格し、日本とメキシコの間をつなぐ架け橋になろうと思っています。